

これからを創る  
あなたへ

首都大学東京ボランティアセンター  
学生コーディネーター

神保 彩乃

(都市教養学部 経営学系 4年)



最近嬉しいことがあります。それは、ボランティアに参加すると必ずと言っていいほど他のボランティアで出会った方々に再会すること。

とある地域のスポーツイベントに参加すると…どんど焼きに参加すると…

あ、〇〇さん！またお会いしましたね。今日もよろしくお願ひします。と挨拶ができること。

自分がしてきた4年間の活動が積み重なって地域の方とのつながりをつくれたことを実感するとともに、

温かな行事がある、温かな人がいるその地域を良いなと思えるこの瞬間は、とても嬉しい瞬間です。

学生コーディネーターとはを説明する時、「同じ学生の立場から、学生と地域をつなぐ活動を行っています」という言葉が使われます。

…が、学生コーディネーターを始めた2年生の頃はこの言葉がしっくり来ていませんでした。私たちがつなげられるのは学生とボランティア活動で…確かに地域にある活動だろうけど、本当に地域とつなげるには…と考えがまとまらない時期もありました。

ですが、ボランティア活動を通して様々な場で様々な人と出会い、地域の活動でつながりとして生きる瞬間を経験した今だからこそ、

この言葉がストンと自分の中に落ちた気がしています。

地元を離れて大学進学をした私でしたが、ボランティア活動を通して、自分のエネルギーを発揮したいと思える地域、

自分ごととして考えられる地域ができました。自分にとっての地域…何個あっても良いかもしれません。

でも、ある人から自分ごととして考えられている地域が今私たちが生きているこの社会にたくさんあったら

…何だか素敵な社会になる気がしませんか？